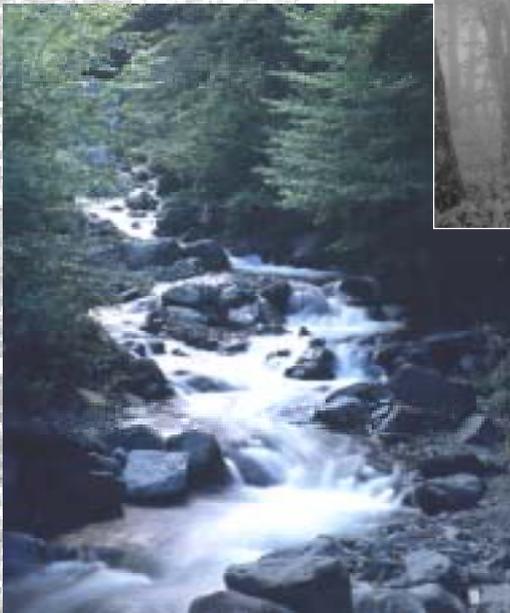


かながわ水源環境保全・再生 施策大綱

水源環境保全・再生の将来展望と施策の基本方向



平成17年11月



ごあいさつ

横浜開港以来、日本の近代化をリードしてきた神奈川は、戦後においても、京浜臨海部を中心に急速に工業化が進み、我が国経済の発展を牽引してきました。こうした工業化や都市化の進展による人口の増加に伴い、水の需要も急増しましたが、神奈川県は、相模ダムの建設をはじめとして、早くから水源開発に努め、経済の発展や豊かな県民生活の礎を築いてきました。

水源地域の方々のご理解とご協力を頂きながら、先人たちが先見性を持ち、全国に先駆けて、水を安定的に供給する体制を整えてきてくださったおかげで、今日、私たちは、何の不自由もなく水の恩恵を享受することができます。

しかし、その水をはぐくむ水源環境が今、深く傷ついています。丹沢をはじめとする水源の森林は、荒廃が進み、水をかん養する力が損なわれています。また、県民の水がめとして清浄に保たれるべきダム湖は、生活排水などによる水質汚濁が問題となっています。今、日々の生活の中で水に不自由を感じないからといって、このように深く傷ついている水源環境をこのまま放置すれば、安全・安心な水利用は損なわれ、深刻な事態となることは明らかです。

こうした時代に生きる私たちの使命は、先人たちから贈られた神奈川の大切な水資源を、良好な状態で将来の世代に引き継いでいくことだと思います。幸いにして神奈川県は、水源地と水の消費地がともに県内にあります。そのため、私たち県民の意志によって、水源環境の保全・再生に向けて大きく歩みだすことができるのです。

県では、平成12年から、今後の水源環境の在り方について、県民の皆様と論議を重ねてまいりました。私も、こうした取組を結実させ、ぜひともこの神奈川県で水源環境の保全・再生に向けた新しい仕組みを創り上げたいと考えておりました。

このたび、これまでの長年にわたる県民の皆様との論議、さらには県議会での議論を経て、20年間の取組全体を示す「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」と、この施策大綱を踏まえて最初の5年間に取り組む「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」の二つの計画を策定し、そのための財源について、県民の皆様にご負担をお願いするという形で、水源環境保全・再生に向けた新たな仕組みをスタートさせていただくことになりました。

今後、施策を推進するに当たりましては、こうした仕組みの一環として新たに県民会議を設置し、県民の皆様方のご意見を反映し、また、施策展開にも直接ご参加いただけるようにしてまいりたいと考えております。

先人から贈られた宝である大切な水資源を、次の世代に引き継ぐため、荒廃の危機に瀕している水源環境の保全・再生に全力を尽くしてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成17年11月

神奈川県知事 松沢成文

目 次

かながわ水源環境保全・再生施策大綱策定の背景・経緯とねらい	1
第1 現状と課題	3
序 章 水源環境保全・再生施策の必要性	5
1 なぜ、水源環境保全・再生が必要なのか	5
2 なぜ、今、水源環境保全・再生に取り組むのか	6
3 今日、様々な環境課題がある中で、なぜ、県が水源環境保全・再生に取り組むのか	6
第1章 本県における水資源と水利用	7
1 保有水源の現状	7
2 水利用の現状	8
3 水循環に関する課題	9
第2章 これまでの取組と課題	11
1 これまでの取組と課題	11
2 取組の充実・強化の必要性	11
第2 施策大綱	13
序 章 水源環境保全・再生の基本的考え方	15
1 目的	15
2 理念	15
3 施策展開の視点	16
4 対象地域	17
5 計画期間	18
6 施策体系	19
第1章 森林の保全・再生	20
1 現状	20
2 将来像	21
3 施策展開の方向性	22
4 20年間の取組	26
第2章 河川の保全・再生	28
1 現状	28
2 将来像	30
3 施策展開の方向性	31
4 20年間の取組	34
第3章 地下水の保全・再生	35
1 現状	35
2 将来像	35
3 施策展開の方向性	37
4 20年間の取組	38

第4章	水源環境への負荷軽減	39
1	現状	39
2	将来像	40
3	施策展開の方向性	41
4	20年間の取組	43
第5章	県外上流域対策の推進	44
1	県外上流域対策の推進	44
第6章	水源環境保全・再生を支える活動の促進	45
1	上下流連携の推進	45
2	水環境教育・学習の推進	45
第7章	水源環境保全・再生を推進する仕組み	46
1	総合的な水環境調査の実施	46
2	県民の意志を基盤として施策を推進する新たな仕組み	46
3	市町村の取組を促進する仕組み	47
参 考	これまでの検討・論議の経過	49
1	水源の森林づくり事業の導入	51
2	神奈川県地方税制等研究会からの提言	51
3	県民の方々との論議	51
4	市町村等との検討	56
5	計画案のとりまとめ経過	56